



編集兼発行
公益財団法人 小笠原協会
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
電話 03-3432-4921
FAX 03-3432-4487
振替貯金口座(郵便)
00190-9-64610
みずほ銀行芝支店
普通 3242428



小笠原協会会長 渋井 信和



小笠原旧島民・島民の皆さま、賛助会員をはじめ小笠原に関わられるすべての皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症がわが国を含め世界的に大流行し、経済・産業をはじめとして人々の日常生活に大きな変革をもたらしました。しかも、新型コロナウイルスの猛威は今もなお続いている。余談を許さない状況です。

一刻も早くウイルスの感染が治まりかつてのような平穏な日々が訪れますよう祈るばかりです。

小笠原協会でもコロナウイルス感染の影響をもろに受け、国の非常事態宣言や東京アラートの下、感染予防の観点から勤務体制を縮減しリモートワークを導入するとともに、評議員会や理事会などの基幹運営は全てリアル会議方式ではなく書面評決による実施を余儀なくされました。

また、年間の最大行事であり毎年多くの関係者の皆さまから待ち望まれていた、小笠原訪問交流ツアーも中止せざるを得ませんでした。

その一方で、一昨年の10月に小笠原を直撃した台風21号により甚大な被害を被った父島、母島の災害復旧のために小笠原協会として災害支援金募金活動を行った結果、130名もの多くの皆さまから多額な支援金を頂戴し、全額、小笠原村へ寄贈することができました。

このように大勢の皆さまが小笠原を想い、小笠原を心配して下さっているのかと、心が熱くなる思いでした。支援して下さった皆さまに改めて心より御礼申し上げます。

さらにまた、協会として、未だに帰島が叶わない硫黄島、北硫黄島の旧島民の想いを聞き、戦前の生活実態や産業、文化などのほか強制引き揚げがどのようにして行われたのかなどを聞き取り、記録として残していく事業に取り組んで来ました。

このように、昨年は4人の旧島民の方々から聞き取りを実施し、小笠原「特集号」(硫黄島に関する聞き取り調査記録(3))として発刊することができました。

硫黄島旧島民の皆さまがますます高齢化していくなか、硫黄島が歴史の彼方に忘れ去

られることがないよう、今後も聞き取り調査を実施していきたいと思っております。関係者の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、コロナ感染が未だに収束しないなか、令和3年がスタートいたしました。

今年も「新しい日常」のなかいろいろな制約が出てくると思いますが、小笠原協会の基本的な役割である「旧島民に対する小笠原諸島への帰島相談を実施するとともに、機関紙等を通じて小笠原諸島に関する情報提供に努める。」ための事業を粛々と実施してまいります。とりわけ、本年は協会ホームページの充実を図り時宜にかなった情報を皆様へ提供してまいりたいと思っております。

また、昨年は止むなく中止となった小笠原訪問交流ツアーを今年はぜひとも実施し、小笠原を想い小笠原を愛する旧島民の皆さまや賛助会員の皆さまの期待に応えていきたいと思っております。

さらに、近年、盛んになつております小笠原研究の関係者との連携、小笠原に関する資料の収集、整理、保管などを着実に進めてまいります。

最後になりましたが、今年も新型コロナウイルス感染症の危険が完全に治まることは難しい一年になると思いますが、そういう中でも、今年一年が皆さまにとりまして健康で幸せな一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

東京都知事 小池 百合子



新年明けましておめでとうございます。本年が小笠原の皆様にとって、希望に満ちた幸多き年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

小笠原協会の皆様におかれましては、日頃より、旧島民の方々への帰島相談や援護活動、さらには小笠原交流ツアーの企画など、この諸島を受多くのの人たちとの交流を通じて、小笠原の振興に多大なる貢献をされております。長年にわたる皆様のご尽力に、深く敬意を表します。

昨年来、世界は、新型コロナウイルス感染症との厳しい闘いを続けています。東京都はこれまで、何よりも大切な都民の命と健康を守るため、幅広い対策を講じてまいりました。皆様には、この間、感染拡大防止対策にご協力をいただき、感謝申し上げます。

小笠原の島々において、感染症の発生・拡大を防ぐには、水際対策が最も重要です。そこで東京都は、本土との唯一の定期交通手段である「おがさわら丸」の乗船者に対し、事業者や小笠原村、関係機関と協力して、感染リスクをお知らせするサービスや唾液によるPCR検査を行ってまいりました。今後も関係者と協議・連携しながら、水際対策に努めてまいります。

また昨年、新型コロナウイルスへの感染が確認された方が本土の病院へ自衛隊機等に

より搬送されましたが、村民や訪島者の皆様の安心と健康を支える点からも、航空路開設の必要性を改めて感じています。

東京都は現在、より実現性の高い洲崎地区活用案に絞って集中的に調査・検討を行っており、昨年7月の小笠原航空路協議会において、1,000m以下の滑走路での運用可能性がある航空機として、いずれも開発中ではありましたが、プロペラ機に加え、ティルトローター機を新たに提示しました。本年度は、引き続き、現地の自然環境や気象等の調査を行うほか、飛行場の構造・工法や、航空機の小笠原への運航可能性の詳細な検討を進めています。

世界自然遺産である小笠原において、貴重な自然環境と調和した航空路案が取りまとめられるよう、あらゆる可能性を追求しつつ、国や小笠原村とも連携を図り、検討を更に前に進めてまいります。

さて、東京都では、返還以来、小笠原諸島振興開発特別措置法に基づき、5年ごとに振興開発計画を定め、道路・港湾などの基幹的な施設整備を重点的に進めてきました。令和元年11月策定の現計画では、「生活環境の整備・産業の振興による定住の促進」、「小笠原諸島内外の交通アクセスの整備による利便性の確保」、「世界自然遺産登録を踏まえた自然環境の保全・再生」という三つの施策の方向の下、振興開発事業を進めることと、住民生活の安定、福祉の増進及び定住の促進などを図り、自立的発展を目指すこととしています。

今後も、小笠原協会の皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、産業振興、交通アクセスや医療・福祉等の向上、

公共施設の老朽化対策、南海トラフ地震等に備えた防災対策など多くの課題に、都民ファーストの視点で取り組み、豊かな自然環境と調和した島づくりを進めてまいります。

また、我が国最南端の沖ノ島島、最東端の南島島につきましても、国境離島という観点から、国とともにどのような取組が可能か検討を深めてまいります。

感染症との長い闘いの最中であって、感染拡大防止と社会経済活動の推進を両立させることこそ、東京都が直面している大きな命題です。感染拡大を抑え込むため、小笠原の皆様一人ひとりの引き続きのご協力を、改めてお願い申し上げます。東京都も、この見えざる敵に打ち勝つための取組に邁進してまいります。

結びに、小笠原協会の今後益々のご発展と、小笠原の皆様並びに関係者のご健勝とご多幸を祈念して、新年の挨拶といたします。

小笠原村長 森下 一男



明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、私たちがこれまで営んできた日常生活が大きく変わる1年となりました。

このウイルスは感染力の強さから世界中で猛威を振るい、多くの方がお亡くなりになりました。まず、この場

をお借りして謹んでお悔やみを申し上げます。また、り患された方々や関係者の皆様、さらには日常生活に多大な影響を受けている全ての皆様方に対し、心よりお見舞い申し上げます。

我が国においては緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛要請や感染症拡大防止のための取組など対策が取られ、当村においても来島や上京の自粛要請をお願いいたしました。多くの事業者や村民生活への制約を伴うものであり、苦渋の決断ではありましたが、誠に残念なことでありました。

一方、このような中にあっても行政としてできることは何かを常に考え、国・都・村と連携し、さまざまな取り組みを行いました。緊急生活支援金や緊急一時貸付金制度をいち早く設置、産業振興策として農産物や土産品の送料補助制度などを実施しました。

また8月からは東京都や小笠原海運などと協力しおがさわら丸乗船客に対するPCR検査を開始するなど、水際対策にも力を入れてまいりました。いまだ感染症の拡大に収束の見通しが立ちませんが、皆様のご協力をいただきながら、この災禍を乗り切つてまいりたいと考えております。

コロナ禍が世界を席巻する一方で、台風や豪雨などの自然災害に見舞われることの多い1年となりました。しかし国内に目を向ければ、熊本県を中心に令和2年7月豪雨による河川の氾濫や土砂災害が発生し、多くの方が被害に見舞われました。地球温暖化の影響による自然の猛威を痛感し、災害への備え強化の必要性をあらためて認識させられました。

さて、令和3年を迎え、引

き続き「ウイズコロナ」を念頭に、村民の皆様と共に「快適に安心して、希望を持ち、活気あふれる中で、自然環境と共存して暮らせる島づくり」とは何かを考え、村の発展に尽くしてまいりたいと思います。

まず今年は、世界自然遺産登録を受けて、10年目の節目となります。われわれはこの貴重な自然財産を後世まで残すため、関係機関や村民の皆様と協力し、引き続き努力を重ねてまいります。

航空路開設推進は、変わらず当村最大の課題と位置づけております。高度医療を近いものとし、人・モノの流通を助け、産業を活性化し、災害時の孤立と輸送手段の遮断を回避するため、あらゆる可能性を模索します。

小笠原諸島が日本へ復帰してからすでに五十余年が経過しております。この半世紀で当村は劇的な復興とげ社会基盤も成熟してまいりましたが、返還当初に整備された各種インフラの老朽化が見られております。小笠原諸島振興開発事業に基づく計画や予算付けを行います。

また、母島においては、4月より母島支所で簡易郵便局業務を担わせていただくこととなります。母島島民の皆様への利便を最優先とし、従来と変わらぬサービス提供ができるよう努めます。

その他、産業の振興、医療・福祉・教育の充実など、当村をとりまく課題は山積しておりますが、とどまることなく着実に前進させてまいります。

最後になりましたが、小笠原協会の益々のご発展、ご活躍にご期待申し上げるとともに、本年が皆様にとって良い年になりますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

小笠原村での輸血医療体制の取組

第三回

元小笠原村診療所長 笠井あすか

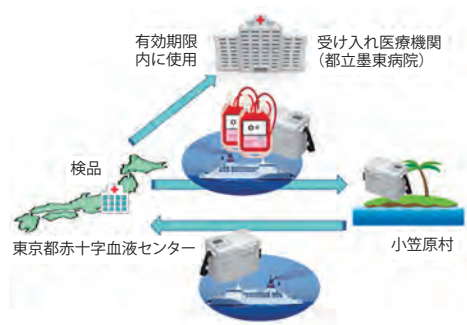
輸血医療の挑戦

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中、小笠原村では竹芝での水際対策、村の診療所での診断・隔離・搬送を継続的に行っています。さらなる感染拡大により、内地では救急車の搬送先が見つからない、心筋梗塞、狭心症の治療が行われなくなる、がんの診断が遅れるなどの新型コロナウイルス感染症以外の患者への医療にも大きく影響を与えています。

小笠原村には父島・母島に唯一の医療機関がそれぞれあるのみで、医療の提供を止めることはできません。感染症流行期にも普段と同じような医療の継続ができるよう、私達の自覚ある行動と基本的感染対策の徹底に努めて参ります。

さて、2017年に当機関誌小笠原216号及び217号で小笠原の輸血体制について紹介しました。この輸血体制は多数の組織の方にご協力をいただいたからこそ確立できたのですが、特に都立墨東病院の藤田医師、富士フィルム富士化学（株）の都能氏の協力無くしては成功しませんでした。（都能氏の原稿については次号掲載予定）

コロナ禍において内地の企業、病院も大変な中、小笠原の輸血システムの継続にご尽力いただいているとともに、この血液搬送装置ATRを使用し全国の輸血医療の充実のため新たな取り組みをされています。感謝の気持ちをこめ



て、今までの小笠原輸血システムに係るご苦労と、今後のさらなる挑戦についてご紹介させていただきます。

今号では、その後の展開について、都立墨東病院検査科、輸血科での対応についてご紹介いたします。

都立墨東病院での対応

東京都立墨東病院
検査科 寺谷 美雪
輸血科 藤田 浩

小笠原諸島で急患が発生した場合、島には空港がないことから海上自衛隊の協力のもと、ヘリコプターや海上に離発着する飛行艇で本土の都立病院等へ搬送しています。本土の都立病院までの搬送時間は平均10時間35分です。輸血用の血液を備蓄することにより、緊急輸血に対応するべく2014年からブラッドローテーションの運用が行われています。

場合は期限切れ前に再び「おがさわら丸」で血液センターへ戻し、検品後に別の病院で使用可能にするシステムです。

墨東病院での取り組み

当病院ではこの検品後の製剤を受け入れて使用しています。ブラッドローテーション開始となった2年ほどの実績について、日本輸血・細胞治療学会に発表、米国輸血学会誌に投稿、掲載に至っております。

緊急時や大量輸血で輸血用血液が不足した場合は、どの血液型の人にも使用可能なO型赤血球を使用することになっています。離島である小笠原でも各血液型の製剤を在庫するのは難しい状況であるため、必要時にはO型赤血球を使用することになっています。

2014年12月から2019年12月の間に父島に528本の製剤が搬送され、9名の患者に10本使用されています（母島症例2例、合計11例）。

赤血球製剤の有効期限は採血後21日間です。血液センターから墨東病院へ納入される赤血球製剤の残りの有効期限は通常12〜16日程度ですが、ブラッドローテーションの製剤では4〜6日と短くなります。この間に、輸血が必要な患者さんに対して準備を行い、製剤が無駄にならないよう工夫して対応しています。

当院での受け入れ実績

墨東病院は救命救急にも対応している病院で、赤血球製剤の使用は1年間で約1万単位と多いため、短い期限でもその期限内に使用することがほぼ可能です。仮運用開始から2019年12月までの5年間でブラッドローテーションの赤血球製剤を小笠原へ搬送され、返品さ

れた518本中、合計500本受け入れ、499本が問題なく使用されました（1本は残念ながら期限切れとなりました）。

母島での血液備蓄と対応

当時課題であった母島での血液備蓄については、2019年5月から開始しています。

輸血するためには、その血液が患者さんへ適合するかどうかを検査する必要があります。本土の病院の多くは検査技師がその検査を行っていますが、検査技師不在の母島では看護師が検査を行います。母島でのブラッドローテーション開始にあたり、検査を行う看護師への研修も墨東病院で行いました（図1）。その導入の経過や研修実績については、日本輸血細胞治療学会で報告されています。



図1 母島診療所看護師、植田美帆さんの墨東病院研修終了式

病院では当たり前のようにある検査用機器も島にはもちろんありません。最低限の機器のみを用いてすべて手作業での検査となります。実際に検査する際と同じ状況で研修を行いました。研修に来た看護師の方も真剣に取り組んでいました。実際に使用した症例に関する学会報告もされています。図2は、2019年5月に開催された日本輸血細胞



図2 日本輸血細胞治療学会熊本総会の懇親会

胞治療学会熊本総会の発表後の懇親会の写真です。血液を運ぶ冷蔵庫を開発した人、運ぶ人、血液を使用する人、再利用する人の集まりであり、相互の協力があつて、ブラッドローテーションは成立しているものと思います。

当院以外への拡大

ブラッドローテーションの取り組みが広がり、現在は東京大学病院でも小笠原を旅してきたO型赤血球2単位1本を受け入れ使用しています。この使用状況について学会報告されており、また、小笠原村役場、診療所スタッフの熱心な要望と東京赤十字血液センターの支援により、2020年3月から母島診療所へ、O型赤血球2単位2本を供給されるようになりました。その1本の受け入れを表明していただいたのが、東邦大学大森医療センターです。それぞれの立場で、出来ることを広げていけたらと思います。がら業務に取り組んでいます。

全国への影響拡大

小笠原ブラッドローテーションシステムの成功は、わが国の血液供給体制に大きく影響を与えることになりました。小笠原と同じような離島である鹿児島県奄美大島、長崎県五島列島では、小笠原ブ

ラッドローテーションシステムが参考にされ、その地域のニーズに合わせたブラッドローテーションシステムを構築し、臨床研究中です。血液を廃棄することなく有効利用する血液供給体制を厚生労働省が一つの指針を示しました。医薬品の返品再利用に関するガイドラインです。輸血用血液を含む医薬品はこのガイドラインの規定を受け、返品再利用するときにはその厳しい条件を満たさなければなりません。小笠原ブラッドローテーションシステムはその厳しいガイドラインの条件を満たしており、good practice例（成功事例）と考えられています。

これからの取組

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、当院は一時的に診療縮小を余儀なくされました。それに伴い、小笠原ブラッドローテーションを踏まえた血液製剤の在庫調整を行い、献血者不足の中、小笠原からの血液を無駄にせず、かつ院内在庫の血液が廃棄されない状態を維持することができました。

なお、執筆者のひとり、藤田浩は、2022年、日本輸血細胞治療学会秋季シンポジウム会長に内定いたしました。このことを報告します。当シンポジウムでは、遠隔地の血液供給について情報共有できるように努めたいと考えております。よろしく願います。

最後に、輸血医療体制の取組第4回では、昨年2月に投稿された、都立墨東病院の小笠原輸血医療への協力体制や輸血製剤の運搬保存機器の開発についてご紹介する予定です。

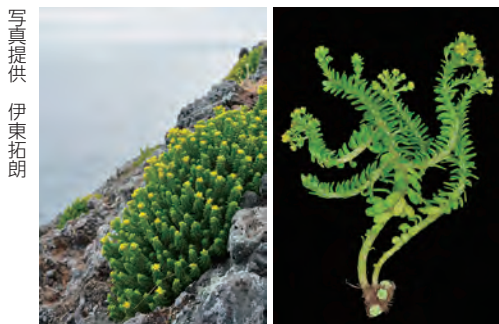
※なお、参考文献等は紙面の都合上省略させて頂きました。

小笠原諸島の賀島列島から新種の植物発見！

小笠原諸島の賀島列島から新種の植物が発見され、「ムコジママンネングサ」と名付けられました。本種は、これまで同諸島の賀島・父島列島に分布する絶滅危惧種のムニンタイトゴメとされ

てきましたが、賀島列島のものは新種であることがわかりました。

今回の研究は、2016年に東京都小笠原支庁の公式Twitterアカウントが、小笠原諸島にある無人島、賀島列島に生育していたマンネングサの一種、ムニンタイトゴメ（環境省レッドリスト：絶滅危惧ⅠB類）の自生地写真を投稿し、それを2018年に京都大学大学院農学研究科伊東拓朗日本学術振興会特別研究員（研究当時、現・東北大学助教）が目にしたことから始まりました



写真提供 伊東拓朗

全国硫黄島島民の会が開催されました

令和2年11月29日（日）午後1時から川崎日航ホテルにて、第49回全国硫黄島島民の会が開催され、コロナ禍の中ではありましたが、約50人の方々が参加されました。

寒川蔵雄会長の挨拶では、来年50回目の節目に向け、故郷硫黄島の歴史を風化させないため島民の会の発展を決意されました。

その後、小笠原村長代理の山下正裕総務課課長補佐と小笠原協会洪井信和会長の来賓挨拶があり、2部では、硫黄島合同慰霊祭として参加者全員が献花されました。その後、懇親会と続きました。今後この全国硫黄島島民の会が益々発展されることを祈念いたします。



謹賀新年

小笠原村商工会

会長 打込由美子
副会長 瀬堀ロッキ
理事 前田和子
山田泰子
赤間一夫
橋本清美
宮城幸弘
太田雅美
登田地幸
福田真琴
福井健幸
高橋井亮
石井麻里子
辻下修
森下修

小笠原島漁業協同組合

代表理事組合長 菊池勝貴
副組合長 高瀬吉安
専任理事 稲垣直彦
専任理事 関山剛夫
平島謙一
中嶋山
高嶋春修
代表理事 平井修
監事 〃
〃
電話 〇四九九八―二二四一
FAX 〇四九九八―二二六六
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

小笠原母島漁業協同組合

代表理事組合長 佐々木隆幸
理事 大澤実
理事 川上信義
理事 折田修一
理事 岡本征明
代理 木村好孝
代表 監事 築館寛樹
電話 〇四九九八―三二二二
FAX 〇四九九八―三二二二
〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地

一般社団法人 小笠原村観光協会

会長 森田康弘
副会長 金子隆
理事 須田泰臣
富田浩生
増山大輔
中村哲也
福田真琴
福澤隆圭
竹地博
菊地博
上田辰夫
小田川博志
監事 佐藤博
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

一般社団法人小笠原母島観光協会

「小笠原ラム」を母島の海に沈めて、
1年間熟成させた
「海底熟成ラム Mother」
好評発売中(¥4,500)
電話 〇四九九八―三二二二
FAX 〇四九九八―三二二二
WEB <https://hahajima.com>
〒100-2111 東京都小笠原村母島字元地

小笠原海運株式会社



本社
〒108-0023 東京都港区芝浦3-7-9
電話 03-3451-5171(代)
FAX 03-3451-4522
父島営業所
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
電話 04998-2-2111

五洋建設株式会社

東京土木支店
常務執行役員 中村俊智
支店長
小笠原工事事務所 岩田忠雄
工事所長
東京土木 〇四九九八―二二五八七
支店 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

鹿島建設株式会社

東京土木支店
常務執行役員支店長 風間優
硫黄島工事事務所所長 網野秀生
東京土木 〇四九九八―二二五八七
支店 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

杉田建設株式会社

代表取締役社長 岡部一郎
小笠原支店長 沼田行夫
小笠原副支店長 高橋金光
本社 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字清瀬

株式会社 オー・シー・エフ

代表取締役 鯨江慎二
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

環境保全株式会社

代表取締役 奥山弘史
ペンション扇浦 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字扇浦

大成建設株式会社

代表取締役社長 相川善郎
本社 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

日章建設株式会社

代表取締役社長 宮川正義
本社 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

お客様の暮らしに沿った
保険をご提案します。

自動車保険
火災保険・地震保険
生命保険
がん保険・医療保険
海外旅行保険
国内旅行保険
ゴルフ保険
退職会員ニューエブリ
訴訟費用保険

東京エイドセンター
東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス16F
フリーダイヤル 0120-518-810
AID 20201111-059

物流を支える、未来を創る。

京浜トラクターミナル
京浜トラクターミナル | 梶橋トラクターミナル | 足立トラクターミナル | 葛西トラクターミナル

JMT 日本自動車ターミナル株式会社
Japan Motor Terminal Co., Ltd.

代表取締役社長 秋山俊行
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9
電話 03-3556-0781(代) FAX 03-3556-0788
URL <https://www.j-m-t.co.jp>

株式会社 共勝丸

代表取締役 鶴岡英勝
本社 〇四九九八―二二五八七
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

小笠原興発株式会社

建築・土木施工一式
取締役会長 山崎止
取締役社長 中山雅章
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字元地

司法書士 玉井事務所

玉井由紀則
電話 〇四九九八―二二五八七
FAX 〇四九九八―二二五八七
〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村

謹賀新年

伊豆七島・小笠原諸島の金融機関

七島信用組合

理事長 鈴木 孝信
小笠原支店長 宮川 勝兵

本部・本店 〒100-0101 東京都大島町元町四―一―三
電話 ○四九九二―一―一六六一
小笠原支店 〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八―一―七四一〇

社会福祉
法人

小笠原村社会福祉協議会

会長 菊池 聰彦
副会長 稲垣 直彦
副会長 平賀 洋子

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
小笠原村地域福祉センター内
TEL ○四九九八 (一) 二四八六
FAX ○四九九八 (一) 三四〇〇

東京島しょ農業協同組合

小笠原父島支店・小笠原母島店

代表理事組合長 菊池 勝男
常勤理事 門脇 脩
非常勤理事 清水 良一
監事 小田川 明子
運営委員 宮川 雄介
辻井 麻里子
横山 浩一
小松 朗生
藤谷 明憲
松本 均

〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村
東京島しょ農業協同組合小笠原父島支店
電話 ○四九九八 (二) 二九三二 (代)
東京島しょ農業協同組合母島店
電話 ○四九九八 (三) 二三三三

関東運輸局指定民間車検工場

(有)小笠原整備工場

代表取締役 曾根 博義

〒100-2101 小笠原村父島字奥村
TEL ○四九九八―一―二五二四〇五
FAX ○四九九八―一―三七七七
E-mail seibi@k5-dion.ne.jp

レンタル部

TEL ○四九九八―一―二六二六
<http://ogasawara-rentalcar.com/>
E-mail chichijima_@ogasawara-rentalcar.com

第七貴丸
菊池勝貴

〒100-2101 小笠原村父島字奥村

あけまして
おめでとーございます

有限会社 丸 丈

代表取締役 金子秀雄

〒100-2101 小笠原村父島字東町
電話 ○四九九八二二〇三〇

観光を通じて地域作りを目指す!

(株)小笠原ツーリスト

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

電話 ○四九九八二二七七七一

FAX ○四九九八二二七七七四

ペンション・キャベツビーチ

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

電話 ○四九九八二二三三三六

FAX ○四九九八二二三三二〇二

代表取締役 佐藤文彦

小笠原
フリーショップまるひ

有限会社

★おみやげ・オリジナルTシャツ
文具・雑貨・生活用品

〒100-2101 東京都小笠原村父島東町
TEL 04998(2)2042
FAX 04998(2)2563
代表取締役 菊池 歌子

日用品雑貨・衣料・おみやげ
鮮魚・島えび

有限会社 スーパー小祝

社長 小祝栄一

〒100-2101 小笠原村父島字東町

フラッシュキッチン

住宅 電話 ○四九九八二二三三四五

イルカ・ワジラの海へご案内! マリンコンダクター エスコート www.do-escort.com 各種ダイビングツアー 各種ダイビング講習・機材販売 ドルフィンスイム・ホエールウォッチング チャーターボート 株式会社 EEEth 代表取締役 太田 幸弘 〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町 TEL04998-2-3824	電気、給排水、衛生、空調、家電品販売、 コピーサービス 株ときわ 本店 〒100 2101 東京都小笠原村父島字東町 支店 〒100 2211 東京都小笠原村母島元地 TEL ○四九九八―三―二五五	株小笠原ダイビングセンター 器材販売・貸出・ガイド 水中撮影・エア・チャージ コンドミニウム・ ダイビング・ホエール・ドルフィンウォッチング 代表取締役 森 田 康 弘 〒100 2101 小笠原村父島字東町 電話 ○四九九八―二―二〇二	第八神徳丸 亀肉販売 佐々木 隆 幸 〒100 2211 小笠原村母島元地 電話・FAX ○四九九八―三―二四〇八	なんでも館 アサヒ産業株式会社 〒100 2101 東京都小笠原村父島字東町 電話 ○四九九八―二―二八一 (代)
---	--	--	---	--

株式会社 品川建設	代表取締役 加藤 大介	〒100-2101 小笠原村父島字奥村 電話 ○四九九八一二二〇五六 FAX ○四九九八一二二〇五八
民宿境浦ファミリー	遠 藤 あや子	〒100-2101 東京都小笠原村父島字境浦四八 電話 ○四九九八一二二一五三〇
小笠原消費生活協同組合	生鮮食料品・輸入食料品等 代表理事 瀬 堀 ロツキ	〒100-2101 小笠原村父島字東町 電話 ○四九九八一二二二四一 FAX ○四九九八一二二三〇二
前田商店株式会社	食料品・雑貨 代表取締役 前 田 豊	〒100-2211 小笠原村母島字元地 電話 ○四九九八一三一二二一
サクタ工務	土木工事 造成 解体 代表 作 田 行 啓	〒100-2101 東京都小笠原村父島字奥村二一五〇一 電話・FAX ○四九九八一二一三三三三

	株小笠原マリ 船舶用品販売及び修理 遊覧船・コラールシー LPガス業務全般 代表取締役 菊池 寛 〒100-2101 小笠原村父島字東町 TEL〇四九九八-二二九一七 FAX〇四九九八-二二九一六	小笠原ガス株式会社 代表取締役 打込 嘉高 〒100-2101 小笠原村父島字扇浦 電話 〇四九九八-二二二八一六	民宿 たつみ 沖山 ルリ子 〒100-2101 小笠原村父島字奥村 電話 〇四九九八-二二二七五五	ガソリン・スタンド 小笠原商事有限公司社 代表取締役 岸 悦子 〒100-2101 小笠原村父島字西町 TEL〇四九九八-二二二〇七
--	--	---	---	--

新企画「私と小笠原」
第2回

前回の機関紙「小笠原」10月号で紹介しました、東京都小笠原支庁の総務課長として復興期の小笠原で活躍された星野勢さんに続き、第2回では小笠原協会の参与でもあります、佐藤茂美さんに小笠原の思い出を語っていただきます。

なお、登場する方々は事務局で人選いたしますが、自薦、他薦も大歓迎ですので皆さまからの推薦をお待ちしております。

「私と小笠原」
小笠原協会元事務局長
佐藤 茂美



小笠原協会が設立されたのは、昭和40年5月です。「小笠原婦島促進連盟」を母体に誕生しました。

島の返還は、小笠原旧島民にとって長年の悲願でした。島の人は何時になったら帰ることができるのか、ただ待ちわびる日々でした。

しかしついに昭和43年6月26日小笠原諸島が日本に返還されることになりました。

この朗報により、23年ぶりの復帰を祝う祝典が、日比谷公会堂で行われました。旧島民をはじめ、男女、学生、青年団、一般都民により、3,000人のパレードが会場から東京駅八重洲口まで盛大に繰り広げられました。

その後、帰島が始まり、実際に旧島民として最初に帰島されたのは、60数名の漁業関係者でした。そして他の旧島民の方々の帰島も始まりました。

昭和49年7月には、農業関係者が父島、母島併せて42世帯が帰島され、昭和53年5月時点での帰島者は1,498人となりました。

平成元年年末には、人口も2,101人になり、約30年後の令和2年3月には、人口は2,631人になりました。

この2,600人程度の人口が、現在の小笠原の人口として定着しているのではないかと考えられます。

私が小笠原に居住したのは、転勤により昭和53年4月から55年3月までの2年間です。返還後、約10年程経過していました。島の人口は、2,500人程度、島の様子も落ち着いていました。

私は、八丈島、三宅島に併せて6年ほど居住したことがあります。実際の生活環境は、これらの島とはほぼ同じでした。違う所といえば、交通機関で航空路線がないこと、内地から桁違いに1,000キロも離れていることです。

また、何か南洋の雰囲気があることが決定的に違います。開放的で人柄の明るさなどにみ出しています。ほとんどの家庭では、戸締りをしない生活がそうさせたのではないかと思います。

内地とのつながりは、唯一ラジオ放送でした。在島中にテレビも放映されました。これらが内地と同一の時間を共有できる手段でした。

島での生活のリズムはほとんどが船便と同じで、時間的には3・4日船が停泊している時間に併せていられています。この習慣になれると島の生活の不便さはほとんどなくなりまし

なりました。

島の生活は楽しく、埼玉県の海のない環境で育った私には、毎日天国にいるような生活を送ることができました。

転勤により島の生活は、何か天から与えられたご褒美のような気分でした。

ただ一度、小笠原といえども、離島にいたという感じをしたことがあります。それは、大きな台風と天候不順が続く船がシケで一ヶ月程来る

ことができないことがありました。その時は、野菜、魚(漁にも出られないため)、米さえ店頭になくなることもありまし

た。この時は小笠原といえども「離島なんだ」と思いました。私は海が大好きでしたので、土・日の休日は、夏の定期船が出航した後の夕方から薄暗くなるまで泳ぐことができた

泳ぎに出たときは、必ずタコを2・3匹捕まえてきました。場所は二見湾の自衛隊前、境浦、扇浦の3ヶ所で、一週間おきにひと回りすると、同じ穴に必ずと言っていい程、タコが入っていました。

当時タコやイカはコレステロールが多く含まれていると聞いていたので、職員住宅前の広場で、酒盛りをしている単身赴任者に差入れしました。

彼らは、釣りの自慢話や故郷の話題など、毎晩遅くまで延々と語り合っていました。このような場で、同じ釜の飯を食った仲間

は、転勤後も内地で親しく付き合っている人が多いようです。又、島の人とも交友していると聞いております。

私も八丈島・三宅島の人々とは、今でもお付き合いが続いております。

これからも、お互い健康で頑張ります。

「小笠原」特集第65号
「硫黄島に関する
聞き取り調査記録③」
を発売しました



本年は昭和20(1945)年の太平洋戦争終結から75年、昭和19(1944)年の小笠原諸島・硫黄列島の島民の強制疎開から76年

になります。時の経過とともに、実際に戦争による悲惨な体験をした方々が少なくなってきました。

さて小笠原諸島・硫黄列島では昭和19年に現地徴用された人や自らの意思で離島した人を除き全島民が強制的に疎開させられました。物資が枯渇している時代に、僅かな手荷物だけをもって、家もなく仕事の当てもない土地に疎開させられた人々の困窮は想像に難くありません。

また、戦争終結後も昭和43(1968)年の小笠原諸島・硫黄列島の返還までの23年間、アメリカの統治下にお

かれたこと自体世界でも類のないものです。戦争が終わればすぐ島に帰れると信じていた島民の希望を打ち砕き、取り残された苦難の歲月でした。さらに硫黄列島では、アメリカからの返還後50年が経過した今日でも旧島民の帰還は叶わぬものとなっています。

この悲惨な現実を目をそむけ、歴史を風化させることは出来ません。そして実際に体験された方々の生の声、証言こそが歴史の教

訓となり、今これを残すことが急務となっています。小笠原協会では、これまでも旧島民の皆さまからの聞き取り調査を実施し、小笠原特集号」として2号を発刊してまいりました。第3号となる今回は4人の方々(福島立恵様、市川石子様、篠崎允様、齋藤信治様)からご協力を頂き発刊することができました。ご証言くださった皆さまが、共通におっしゃることは、戦前の硫黄島での豊かで楽しかった日々の思い出と同時に「戦争は絶対にしてはいけない」という心の底からの叫びです。

小笠原産・特産物
(2点のご紹介)

小笠原産
「海底熟成ラムMother」

戦前サトウキビの栽培が盛んにおこなわれていた小笠原では、製糖業の過程で生じた副産物を発酵・蒸留して作った酒を「泡酒」や「蜜酒」と称し永く愛飲されてきました。戦後、小笠原が日本に返還され、村おこしの一つとして小笠原の地酒として「小笠原ラム」が誕生、それをポニブルの海に沈めて海底で約1



年間熟成したものが、「海底熟成ラムMother」です。「海底熟成ラムMother」は小笠原ラムを「もつと美味しくしたい」、「もつと多くの方に知っていただきたい」との思いから、2014年(平成26年)にプロジェクトを立ち上げ試行錯誤で作り上げたものです。2017年(平成29年)1月より「海底熟成ラムMother」の名称で販売を開始し、小笠原が持つ「歴史」と「母なる海」から生まれた新しい東京のラムなのです。

味や香りがまろやかになつて美味しいと評判です、熟成が早くなる理由はわかっていませんが、波の揺らぎや超音波などが作用しているのではないかと言われています。是非ご賞味下さい。

【販売について】
●販売価格は1本4,500円(税込)。
●販売は島内(父島母島)のお土産屋さんなどの他、インターネット販売もあります。
●ショップリスト
<https://hahajima.com/run/>
【ラムオーナー制度について】
●ラムオーナー制度という受注販売(4,500円)があります。
●ご注文をいただいてから熟成を開始し、1本1本にシリアルナンバーと熟成開始日を記載したタグをつけてお渡しし

ます。
●なお、タグは小笠原では外来種として駆除されているアカギの木を利用しています。
●申込みはメールまたはFAXで
メール: letter@oga-run.com
FAX: 049981312008

【海底熟成ラムMotherについてのお問合せ】
問合せ窓口(母島観光協会内)
TEL: 049981312300
FAX: 049981312200
メール: mother-run@hahajima.com

小笠原の太陽をたっぷり
浴びて育った完熟ミニトマト

燦々と降り注ぐ小笠原の太陽をたっぷり浴びて育った自慢の完熟ミニトマトです。フルーツのような甘みとトマトらしい濃厚な旨みのバランスが絶妙です。
春のパッションフルーツシーズンには、皆さまから沢山のご支援を賜りました。おかげさまで、コロナ禍にもかかわらず、島の農業者が生産した果実を無駄なく出荷することができました。心より感謝申し上げます。現在の特産のミニトマトが旬を迎えつつあります。引き続き変わらぬご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

ミニトマトの発送はお申込み順におこないますが、限られた土地で丁寧に栽培しているため大量生産ができません。人気商品ゆえ、発送までにお時間がかかります。また、品切れの際はご容赦願います。
【販売について】
ミニトマト850g詰め、価格2,160円(税込)。別に送料がかかります。
【注文方法】
電話またはFAX
TEL: 049981312331

FAX: 049981312345
お問い合わせいただきましたら、注文書をFAXいたします。
【お問合せ先】
東京島しょ農協小笠原母島店
担当 門脇・大出
TEL: 049981312331



謹賀新年
公益財団法人 小笠原協会

会長	洪井 信和
常務理事	菊地 輝雄
理事	岡 小枝子
〃	岡部 一郎
〃	菊池 勝貴
〃	小暮 実
〃	谷川 浩也
〃	森下 一男
〃	森田 裕一
〃	大河原文晴
監事	鈴木 茂
〃	石井 正則
〃	稲垣 政孝
〃	菊池 武博
〃	佐々木日出子
〃	佐藤 洋美
〃	寒川 藏雄
〃	田代 義一
〃	中村 益美
〃	鯉江 満
〃	水野 勇
〃	若澤 美義
〃	若林 和彦
〃	齋藤 邦雄
主査	鈴木 千恵子

令和2年 12月 1日現在 ()内は前年同月		令和2年 11月気象状況 ()内は前年同月 (父島)	
住民基本台帳登録者数		最高気温	29.2℃
○世 帯	1,499 世帯 (1,494 世帯)		(29.2℃)
		最低気温	19.7℃
			(19.6℃)
父 島	1,228 世帯 (1,216 世帯)	平均気温	24.4℃
			(25.0℃)
		平均湿度	84%
			(75%)
母 島	271 世帯 (278 世帯)	月降水量	199.5 mm
			(51.0 mm)
○人 口	2,606 人 (2,622 人)	(気象庁 ホームページ)	
		令和2年 11月中の来島者数	
父 島	2,153 人 (2,167 人)	()内は前年同月 (父島)	
		定期船	1,529 人
			(1,583 人)
母 島	453 人 (455 人)	観光船	0 人
			(755 人)

▼個人賛助会費 ▽三口 益美 中村 益美 ▽一口 阿部 彰良 荒川 昌代 小幡たま江 春川 浩一 三瓶 清晴 田巻 優子 浅沼 孝之 牟田口 淳 ▼新規入会者 ▽一口 興水加奈子 濱谷さゆり 黒江 玲奈 渥美ひさよ 遠藤キャサリン 松隈 純 石山 泰弘 城所 安純 片岡 靖高 石川 一美 ▼法人賛助会費 ▽二十五口(十五万円) 杉田建設株式会社 ▽十口(六万円) 日章建設株式会社 有限会社小祝商店 五洋建設株式会社 ▽五口(三万円) 株式会社オー・シー・エフ 株式会社ドラムエンジニアリング ▽三口(一万八千円) 七島信用組合小笠原支店 ▽二口(一万二千円) 有限会社小笠原整備工場		小笠原海運株式会社 ▽一口(六千円) 株式会社ナショナルランド 株式会社共勝丸 大神山神社 岡本建設有限公司 環境保全株式会社 小笠原神社 ▼寄付金 ▽令和二年特集号広告 株式会社共勝丸 日章建設株式会社 小笠原島漁業協同組合 有限会社小祝商店 東京都弘済会 株式会社東京エイドセンター 杉田建設株式会社 小笠原海運株式会社 五洋建設株式会社 株式会社ドラムエンジニアリング 環境保全株式会社 大成建設株式会社 日本自動車ターミナル株式会社 ▽令和三年新年号広告 株式会社とさわ 第七貴丸 民宿境浦ファミリ 民宿たつみ 株式会社オー・シー・エフ 七島信用組合小笠原支店 小笠原母島漁業協同組合 第八神徳丸 東京島しょ農業協同組合 有限会社小笠原整備工場 有限会社フリーストップまるひ 小笠原商事有限公司 株式会社小笠原ツーリスト (社福) 小笠原社会福祉協議会	
▼個人賛助会費 ▽三口 益美 中村 益美 ▽一口 阿部 彰良 荒川 昌代 小幡たま江 春川 浩一 三瓶 清晴 田巻 優子 浅沼 孝之 牟田口 淳 ▼新規入会者 ▽一口 興水加奈子 濱谷さゆり 黒江 玲奈 渥美ひさよ 遠藤キャサリン 松隈 純 石山 泰弘 城所 安純 片岡 靖高 石川 一美 ▼法人賛助会費 ▽二十五口(十五万円) 杉田建設株式会社 ▽十口(六万円) 日章建設株式会社 有限会社小祝商店 五洋建設株式会社 ▽五口(三万円) 株式会社オー・シー・エフ 株式会社ドラムエンジニアリング ▽三口(一万八千円) 七島信用組合小笠原支店 ▽二口(一万二千円) 有限会社小笠原整備工場		小笠原海運株式会社 ▽一口(六千円) 株式会社ナショナルランド 株式会社共勝丸 大神山神社 岡本建設有限公司 環境保全株式会社 小笠原神社 ▼寄付金 ▽令和二年特集号広告 株式会社共勝丸 日章建設株式会社 小笠原島漁業協同組合 有限会社小祝商店 東京都弘済会 株式会社東京エイドセンター 杉田建設株式会社 小笠原海運株式会社 五洋建設株式会社 株式会社ドラムエンジニアリング 環境保全株式会社 大成建設株式会社 日本自動車ターミナル株式会社 ▽令和三年新年号広告 株式会社とさわ 第七貴丸 民宿境浦ファミリ 民宿たつみ 株式会社オー・シー・エフ 七島信用組合小笠原支店 小笠原母島漁業協同組合 第八神徳丸 東京島しょ農業協同組合 有限会社小笠原整備工場 有限会社フリーストップまるひ 小笠原商事有限公司 株式会社小笠原ツーリスト (社福) 小笠原社会福祉協議会	

皆様
ありがとうございます
～令和2年9月1日から令和2年11月30日まで

有限会社丸丈
(社) 母島観光協会
サクタ工務
アサヒ産業株式会社
有限会社小祝商店
小笠原消費生活協同組合
▽個人(六千円)
工藤 京子

敬称は略させていただきます。万が一、
未掲載の失礼がありましたら次号掲載
しますのをご一報ください(掲載順不同)

賛助会員ご加入のお願い！
小笠原協会の活動は賛助会
員の皆様方の会費収入に支え
られております。引続きのご
支援をお願いいたします。
また、新たな皆様並びに旧
島民の皆様にも、賛助会へ
ご入会をお願いいたします。
入会申込書は、当協会の
ホームページをご覧頂くか、
お電話いただければ、送らせ
ていただきます。

おがさわら丸の割引証明
個人の賛助会員の方は、お
がさわら丸の乗船割引が受け
られます(2等、特2等)。割
引の詳細は協会のホームペー
ジ等でご確認ください。
「おがさわら丸」ご利用の際
の割引証明の手続きは、小笠
原海運での乗船予約をされ
る際に、賛助会員証の写しを
ファックスされるか、メール
に添付してお送りください。
また、旧島民及び関係者
(ご子孫、配偶者等)の方は、
おがさわら丸の割引対象で
す。割引証明をご希望の方
は、小笠原協会にお電話く
ださい。

令和3年度賛助会員
更新手続きについて
令和3年度の更新手続き
につきましては、3月に継続
のお願いをお送りさせてい
たきます。なお、5月の乗
船割引を受けられる方は、3

月早めの継続手続きをして
ください。

計報
謹んでご冥福をお祈り
申し上げます。
佐々木 昭様 92歳
令和2年9月28日ご逝去
元小笠原支庁長
小笠原 愛作様 89歳
令和2年11月5日ご逝去
父島大村在住
南 ジョーヂ様 59歳
令和2年11月11日ご逝去
父島清瀬在住
岡本 美那子様 84歳
令和2年12月6日ご逝去
父島宮之浜在住

故小笠原愛作さんを
偲んで
元小笠原出納事務所長
林 眞一郎

小笠原航路時刻表
(令和3年1月～令和3年6月)

ハートロック (千尋岩)

運航月 時刻	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
1月	11:00	11:00	—	—	15:30	15:30	父島折り返し
	1(金)	2(土)	—	—	2(土)	3(日)	父島泊数
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:00	15:00	父島泊数
	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	父島泊数
	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	父島泊数
2月	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	父島泊数
	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	父島泊数
	30(土)	31(日)	2/1(月)	2/2(火)	2/3(水)	2/4(木)	父島泊数
	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	父島泊数
	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	父島泊数
	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	父島泊数
3月	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	3/1(月)	父島泊数
	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	父島泊数
	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	父島泊数
	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	父島泊数
	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	父島泊数
	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	31(水)	4/1(木)	父島泊数
4月	2(金)	3(土)	4(日)	5(月)	6(火)	7(水)	父島泊数
	※1 9(金)	10(土)	11(日)	12(月)	13(火)	※1 14(水)	父島泊数
	16(金)	17(土)	18(日)	19(月)	20(火)	21(水)	父島泊数
	※1 22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	※1 27(火)	父島泊数
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:30	15:30	父島泊数
5月	29(木)	30(金)	—	—	30(金)	5/1(土)	父島折り返し
	3(月)	4(火)	—	—	4(火)	5(水)	父島泊数
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:00	15:00	父島泊数
	6(木)	7(金)	—	—	8(土)	9(日)	父島泊数
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
6月	11:00	16:00	—	—	10:30	15:30	父島泊数
	※3 18(火)	19(水)	—	—	20(木)	※3 21(金)	父島泊数
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	11:00	11:00	—	—	15:00	15:00	父島泊数
	28(金)	29(土)	—	—	30(日)	31(月)	父島泊数
	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	父島泊数
7月	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	父島泊数
	16(水)	17(木)	18(金)	19(土)	20(日)	21(月)	父島泊数
	東京発	父島着	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
	10:00	10:40	—	—	15:00	15:40	父島泊数
	※5 24(木)	25(金)	26(土)	27(日)	28(月)	※5 29(火)	父島泊数
	—	—	—	—	—	—	父島泊数

※1 久里浜寄港予定、往路父島着・復路東京着ともに40分遅延到着(予定)
※2 5月6日東京発便 父島1泊(予定)
※3 さるびあ丸による運航 父島1泊(予定)。おがさわら丸ドッグ入は5月10日～5月27日
※4 5月28日東京発便 父島1泊(予定)
※5 八丈島寄港予定、往路父島着・復路東京着ともに40分遅延到着(予定)
◇時刻表は今後の状況により変更となる場合もあります

さあ！母島へ行こう
母島への航路(ホエールライン)

母島は父島の南約50kmに位置しその広さは約21kmです。
島の中央に乳房山(463m)があり島の周囲は58kmあります。
母島を観光される方は、下記の時刻表でぜひ訪島して
ください。

(令和3年1月～令和3年6月)

運航月 時刻	おがさわら丸 父島入港日	おがさわら丸 父島入港の翌日	おがさわら丸 父島出港日	おがさわら丸 父島入出港日	その他の日	運休日			
運航時刻	父島出港 12:00 (12:30)	※は 12:00	ゆり丸 12:00	7:30 7:30	13:30	7:30 ゆり丸 7:30			
	母島入港 14:00 (14:30)	14:00	14:20	9:30 9:50	9:30	9:30 9:50			
	母島出港 15:00	14:00	ゆり丸 14:00	12:00 11:30	10:30	16:00 14:00			
	父島入港 17:00	16:00	16:20	14:00 13:50	12:30	18:00 16:00			
	—	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—	—			
運航月日	1月	7(木) 13(水) 19(火) 25(月) 31(日)	8(金) 14(木) 20(水) 26(火)	10(日) 16(土) 22(金) 28(木)	2(土) 1(金) 3(日)	5(火) 6(水) 9(土) 12(日) 15(月) 18(火) 21(水) 24(木) 27(金) 30(土)	4(月) 11(月) 17(日) 23(土) 29(金)		
	2月	※13(土) ※19(金) ※25(木)	1(月) 8(月)	3(水) 10(水)	12(金) 18(木) 20(土) 26(金) 27(土)	14(日) 21(日) 27(土)	15(月) 24(水) 2(火) 5(金) 6(土) 9(日)	4(木) 11(木) 17(水) 23(火)	
	3月	※3(水) ※10(火) ※16(月) ※22(日) ※28(土)	—	6(土) 13(土) 19(金) 25(木) 31(水)	—	4(木) 5(金) 11(木) 17(水) 23(火) 29(月)	—	1(月) 7(日) 14(日) 20(土) 26(金)	
	4月	3(土) 17(土) 10(土)23(金)は ()の時刻で運航	4(日) 11(日) 18(土) 24(土)	6(火) 13(火) 20(火) 26(月)	—	2(金) 8(木) 12(月) 19(日) 25(日) 28(土)	5(月) 9(金) 15(木) 22(水) 28(火) 29(金)	1(木) 7(水) 14(火) 21(月) 27(日) 27(火)	
	5月	7(金)は下記の時刻で運航 父島発 7:30 14:00 母島着 9:30 16:00 母島発 10:00 父島着 12:00 19(木)は下記の時刻で運航 父島発 7:30 17:00 母島着 9:30 19:00 母島発 12:00 父島着 14:00	—	8(土) 20(土)は下記の 時刻で運航 母島発 7:30 父島着 9:30	—	2(日) 6(木) 10(月) 12(火) 16(日) 22(土) 24(月) 26(水) 28(金)	3(月) 14(金) 18(火)	—	1(土) 9(日) 11(火) 13(木) 15(土) 17(日) 21(月) 23(火) 25(水) 27(木)
	6月	29(土) 3(木)	4(金) 11(金) 18(金) 26(土)	6(日) 13(日) 20(日) 28(日)	—	1(火) 5(土) 12(土) 19(土) 24(金)	2(水) 8(火) 15(月) 22(日) 27(日)	9(水) 16(水) 23(水) 30(水)	7(月) 14(月) 21(月) 29(火)

◆1月5日～2月10日は、ゆり丸が運航します。ははじ丸ドッグ入は1月6日～2月9日
◇時刻表は今後の状況により変更となる場合もあります